

三次市日中友好協会
第8次子ども友好訪中団

交流報告書

2016年7月

三次市日中友好協会

中国に行ってみて 皿海 凧

今回、中国に行ってみて良かったと思いました。自分が今まで体験した事のないようなことを実際に体験できたからです。

1つ目は、ホームステイです。このホームステイで、中国の子と友達になれたし、中国の家庭を少し知ることができたからです。一番驚いたのは、お風呂がシャワーだけだった事です。日本では、浴槽があるのが一般的なので、本当に驚きました。またトイレとシャワーが同じ部屋にある事にもビックリしました。

中国でも、日本の漫画やアニメが人気で、「好きなキャラクターは何？」と聞いたら、私も知っている少女漫画の主人公の「黒沼爽子ちゃんが好き」と教えてくれて、そこから、いろんな話しをすることができました。日本で人気のある「名探偵コナン」や「進撃の巨人」も中国で人気があるそうです。しかし、コナンでは、事件があるたびに人が死に、進撃の巨人では、内容がグロテスクなので、テレビでは、放送されないそうです。

大変だったところは、英語で会話をする事でした。ホームステイ先の中国の子の方が英語が上手く、英語で意味が通じなかったら漢字で書いてくれました。それでも意味が通じなかったときは、スマホのアプリを使って会話をしました。日本では体験できないようなことをたくさんすることができました。

2つ目は、小中学校の訪問です。中学校の訪問で、心に残っているのが射撃の体験です。空気力で弾を出す銃で、もちろん

実弾は使っていません。でも、小さな小さな弾を出すだけなのに、とても銃は重たかったです。夏祭りの屋台で使う射的用の銃とは比べ物になりませんでした。また、撃った感覚は、射的用の銃よりも少なく、撃った後に、今のは自分で撃ったのかわからなくなるほどでした。

小学校の訪問では、茶道や習字を体験しました。茶道では、お茶の葉にお湯を注ぐときや、蓋を開けたり閉めたりするのにも、ちゃんとした作法があって、とても難しかったです。でも、お茶はとてもおいしかったですし、自分の入れたお茶を飲んだ人が「おいしい」と言ってくれたときはとても嬉しかったです。

他にも飛行機に乗ったり、買い物をする時に値切ったり、中国のお茶の歴史を学んだり、リニアモーターカーに乗ったり、上海ヒルズに登ったり、夜の中国の街を歩いたり、パンダの保護センターに行ったり、ホテルで夜皆で遊んだり、忘れる事のない思い出がたくさんできました。そして、ほんのちょっとした行動で中国の人々の優しさを知りました。いままで、中国に対して持っていた意識が変わりました。もう一度、中国に行きたいと思いました。

今回体験した事や、中国についてわかった事、思った事などを、私の周りにいる人たちにできるだけ伝えて行きたいです。そしてすこしでも、中国を好きになってもらえるように、頑張っていこうと思います。

子ども訪中団を終えて 藤井 海斗

僕は6月15日から19日にかけて、子ども訪中団として、中国の四川省の雅安市に行きました。小学校6年生の時、子ども訪中団のチラシを見てとても興味を持ったのがきっかけになりました。

子ども訪中団では、小中学校の訪問や交流、ホームステイなどいろいろな経験ができることが魅力的だなと思いました。

ですが、不安が全く無かったわけではありませんでした。そんな不安の中、ほかの三人の団員と出会い、研修を重ねていくうちに、楽しみだけがふくらんでいく事を感じました。

家では、家族に手伝ってもらいながら、小学校訪問の時に配るブレスレット作りをしながら着々と準備を進めて、出発当日の朝を迎えました。

朝早かったのですが、団員の家族の皆さんや関係者の方々、そして、校長先生に見送られて三次市役所を後にしました。

八時ごろに広島空港に到着しました。荷物検査の時にトラブルがあり、少しドキッとしましたが、広島空港から上海に到着しました。

上海から、通訳の虞さんと合流して、成都に向かいました。

成都から、雅安市に移動し、五時過ぎにはホテルに到着しました。ホテルでは歓迎夕食会もしていただき、簡単なながらスピーチをさせていただきました。

二日目は雅安市雨城区人民政府表敬訪問をして、雅安市の小中学校を訪問しました。

中学校では、射撃を体験することができ

ました。学校内に、図書館があったのが印象に残りました。

小学校では、団員みんなで演奏を行いました。その後、茶道の体験をさせて、もらいました。

その日の晩はホームステイをしました。ホームステイ先では、水餃子をみんなで作りました。自分たちで作ったからか、とても美味しかったです。

三日目には、碧峰峽にある、パンダ保護センターへホームステイ先の家族と行きました。

そこではたくさんのパンダを見れて、ものすごい嬉しかったです。

その後、サファリパークに行き、楽しい時間を過ごすことができました。

四日目は、チベット茶の博物館でお茶の歴史を学びました。昔はお茶と馬を交換し、貿易をしていたそうです。

そして、この日は、成都から上海に移動しました。虞さんとの別れがさみしかったです。

翌日、上海から広島空港へもどり、無事に到着しました。

今回の旅で、中国の人は皆優しく接してくれました。この五日間で、団員たちと、たくさんの思い出ができました。

この体験は、僕の中で最高の宝物になった気がします。

中国で学んだこと 石村 夏鈴

私は、中国に来て、よかったと思いました。いろいろと楽しいこと、初めてのことがあったし、中国のことが分かったからです。いろいろな体験もすることができました。

楽しかったことは三つあります。一つ目は、高校でのしゃげき体験です。高校の屋上へ案内されたので、何かと思ったらしゃげきをしていました。こんなところにしゃげきをするところがあってびっくりしました。ジェスチャーなどでやり方を教えてくださいました。高校生がやると、いつも真ん中に当たるので、すごいと思いました。二つ目は、小学生との交流です。出し物では、歌を歌ったり、楽器をえんそうしたりしてくれました。楽器は、二つとも見たことがなかったけど、その後の茶道や書道も楽しかったです。茶道は、三人の小学生がやってくれました。とても手つきがよくて上手でした。きれいな動きだったので、すごいと思いました。私も実際に体験させてもらいました。お手本を少しずつ見せてくれたので、それを真似しながらやりました。きれいな動きはできなかったけど、けっこう上手にできました。やかんの持ち方が、男と女でちがうことが分かりました。書道はとてもきれいな字ですごかったです。三つ目はパンダ保護センター・野生動物園の見学をしたことです。パンダはしぐさがとてもかわいかったです。サファリパークでは、ライオンやクマ、トラにエサをあげられてうれしかったです。

ホームステイでは、中国語も日本語も両

方は話せないで、英語で話しました。私は英語も分からないので大変でした。通じないこともあって、苦労しました。だから、私は、「もっと英語を勉強していればよかった。」と思いました。夕食は、魚をしゃぶしゃぶみたいに食べました。何の魚かは分からなかったけど、とてもおいしかったです。朝、起きてからはいっしょにぎょうぎょうをつくりました。日本と少し作り方がちがいました。くっつけるとき、日本ではところどころ折っていたけど、中国では二つのやり方がありました。親指と人差し指の間に皮をはさんで、曲げながらギュッとするやり方とはしをふくらませて少しずつしながらくっつけていくやり方です。実際にやって教えてくださいました。慣れていないので難しかったです。朝食も日本とはちがいで、だんごみたいなものとおかゆなどがありました。

中国に行って日本とちがうものをたくさん見つけました。まず、交通についてです。日本とは反対でした。それに、自転車が自動車といっしょに道路を走っていたし、見たことがない乗り物も走っていました。人を運んでいたのが、「日本でいうとタクシーみたいなものかな。」と思いました。お店のちゅう車場ではなくて、道路のはしに、一列に止めてありました。食べ物も日本とはちがいました。四川料理は辛いものが多かったです。食べ物といえば、よ園で食べたしょうろんぼうはとてもおいしかったです。お店の前には、長い行列ができていました。「そんなに人気なんだあ。」と思いま

した。

中国の漢字は、日本とは同じものも少しちがうものもありました。例えば、緑という字は、糸へんが省かれて右の「录」だけでした。「自動ドア」は「自动门」と少しちがう漢字になり、カタカナも漢字になっていました。「中国は漢字だけなんだな。」と思いました。

おみやげもはんこやストラップなどたくさん買ったのでよかったです。

今回中国に行って、他の国の人と交流する楽しさを学びました。だからまた、ほかの国へ行ってたくさんの人と交流し、友達になりたいです。

ぼくが、中国に行こうと思った理由の一つ目は、パンダを見ること、二つ目は、中国の家庭のことを知りたいと思ったことです。さらに、中国の食事を食べたいなど少し思っていました。

出発の当日、三次市役所に三次小学校の校長先生がお見送りに来てくださいました。「がんばってね。」とはげましてもらって、とてもうれしかったです。飛行機にのるとき胸がドキドキしたけど、だんだん楽しくなってきました。と中で機内食を食べたとき、味が少しからかったです。中国に行って、これ以上のからいものが出ると思うとゾッとしました。飛行機の中では、みんなに買うおみやげのことしか、考えていませんでした。でも、このおかげで、みんなのおみやげをかうのになやみませんでした。無事上海にたどり着き、その後、成都便への乗りかえも、うまくいき夜の夕食会は、とても楽しかったです。

朝になり向かったのは、雨城区第二中学校です。中学校のクラブには、日本で生まれたスポーツ、じゅう道や空手などがありました。ぼくが見たかぎりでは、とても強そうで日本は中国の選手に勝てるのかなと思いました。昼食は、中学校で給食を食べました。おかずを自由にお皿に取って食べることができるバイキング方式で、デザートにとってもあまいスイカが出ました。今年初めてのスイカで、とてもうれしかったです。

その後、雨城区興賢小学校に行きました。小学校では、児童のみなさんが、歓迎して

くれ歌を歌ってくれました。ぼくたち訪問団もリコーダーの演そうしてもらいました。そして、お茶を飲ましてもらいました。ホームステイ先の範くんは、茶道クラブだったのでお茶の注ぎ方を教えてくれました。日本に帰ってからは中国のお茶ばかり飲んでいきます。注ぎ方を習ってよかったです。次に習字クラブに行きました。子どもたちの字はとてもきれいで、びっくりしました。

学校訪問の後は、ホームステイをしました。ごはんはちょっとからかったけどおいしかったです。ごはんを食べた後は、範くんといっしょに、小学校でバスケットボールをしました。範くんは、バスケットボールが上手でした。帰るとき、ぼくは、ずっとやりたい気持ちでいっぱいでした。家に帰ると、範くんのお母さんから、何か芸を見せ合いませんかと聞かれたので、得意のマジックをひろうしました。ホストファミリーのみなさんがよろこんでくれたので安心しました。範くんは、ギターの演そうと、歌を聞かせてくれました。

次の日は、とても楽しみにしていたパンダを見に行きました。とてもかわいかったです。パンダセンターのとなりにあるサファリパークや動物園にも行きました。そして、範くんと別れるとき、とてもさびしかったです。でも、住所をきいたので、お手紙を書こうと思います。中国への訪問はとても楽しかったです。